

(様式2(1))

事業所名 はとふるセゾン宝塚

作成日: 令和3年3月19日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	・入居者の認知症状の進行に伴い、おひとりおひとりへのより深い関わりや認知症ケアについて専門的な知識が必要となっている。	・職員の認知症ケアへの意欲を高めると共に入居者おひとりおひとりへの関わりを深める。	・入居者との関わりや他の職員の対応において「心を動かされた事」の体験をユニットミーティングで発表する場をもち、職員同士がケアの方法や気持ちを共有し入居者との関わりを深める意識付けを行う。	12 ヶ月
2	26	・ケアプランの作成時、本人・家族の意向を反映させていない。	・ご本人・ご家族と協働でケアプランを作成する。	・ケアプラン作成前、ご本人の生活状況を十分伝え、現在のケアプランとそごする点を確認し合い新しいケアプランに活かしていく。 ・本人の言葉やご家族様の思いをケアプランに盛り込み協働で作成していく。	12 ヶ月
3	47	・服薬に関する事故が多い。 ・多くの服薬事故は職員が起因している。	・確実な服薬を行う。	・決められた服薬介助のルーティーンワークを確実にを行う。 ・定期的に様々な方法で注意喚起を行う。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。